



発行者
滋賀県PTA連絡協議会
滋賀県PTA安全会
会長 和田 光生
広報委員会
委員長 湯浅 敦堂
印刷 竹田 膳 写

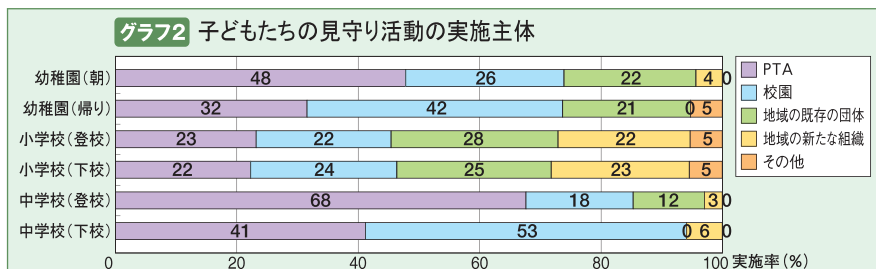
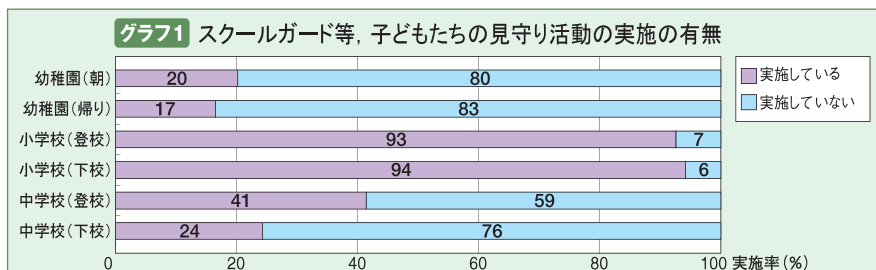


子どもたちを見守るスクールガード

93%の小学校で見守り活動を実施

最近、子どもたちの安全に不安を感じることが多くなっています。保護者の一人として何とかしたいと思いつつ、自分の力だけでは我が子の安全を守ることができないと、多くの皆様が認識されているのではないのでしょうか？

今回「みずいろ」の編集にあたり、子どもたちの安全に焦点をあてて、滋賀県PTA連絡協議会に加盟している県内486校園のPTAで「スクールガード等子どもたちの見守り活動に関するアンケート」を実施いたしました。今回の調査は短期間であったにもかかわらず、369校園のPTAから回答をいただきました。



団体はほぼ同数であり(グラフ2)、学校や地域の特色が見守りの方法については、交差点や横断歩道での見守りが最も多く、登下校の集団に随伴する事例も多数報告されました。いずれも危険箇所を把握した上で活動をされているようです。また自治体によっては、青色パトロールを実施している事例もありました。(4面に続く)

「絆」深めよう！親と子と先生と
夢を支え、夢とともに生きる
11月11日、姫路市で開催された近畿PTA大会は、近畿各地から3000名の会員が集い、滋賀県PTAからは96名が参加しました。

第36回日本PTA
近畿ブロック研究大会

兵庫大会

記念講演 「絆野村流人の輝かせ方」

講師 野村克也氏



野球人生を振り返り監督としての経験から、絆というテーマで話いただきました。

「才能は確かにある」。けれども、それを実現するためには飛び込んだ境遇に、努力して馴染んでいかななくてはなりません。

監督という仕事はチーム作り・人づくりであり、そしてそれは「天性を生かすこと・育成すること・管理すること」であると話されていました。講演の中で、野村監督は一度も選手との絆が大切とは言われませんでした。チームを纏め上げて、優勝へとつなげられた背景には、人と交わる努力を惜しまない誠実さを感じました。そこには確かに、しっかりと結ばれた絆があると思えました。

第2分科会

「学校は心のふるさと」



「親子でワイクエンドクラブ」と題し、彦根市立若葉小学校の山田教頭先生より発表がありました。

このクラブは、学校週5日制を受け、土曜日の「子どもの受け皿」として、彦根市の各PTAが取り組んでいる活動です。同校では、毎月第2土曜日に彦根市由来のもの、また学校の特色を生かした6つのクラブが開設されています。

当日は「カラムクラブ」のカラム盤を持参され、それが「段ボールアートクラブ」の手作りと聞き、そのすばらしい出来栄に驚きました。盤を囲む親子の笑顔が目につきます！講師には「わがバスケ」に登録している地域の方々が参加されるとのことです。そして、PTAが学校と地域のかけはしになり、学年を越えた子どもたちや保護者同士の絆を強める。そのような「心のふるさと」学校を目指して活動されています。

第58回 日本PTA全国研究大会ちば大会

大会スローガン **房の国 集い語れば 実りあり!**

8月27日(金)・28日(土)の2日間、千葉県にて開催され、全国から約8000名のPTA会員等が集い、滋賀県PTAからは32名が参加しました。



1日目は8つの分科会に分散して参加し、教育を取り巻く様々な問題点及び優秀な事例等について学びました。2日目の全体会は幕張メッセイベントホールにて、式典、記念講演及びアトラクションが行われました。



式典の中で(社)日本PTA全国協議会・相川敬会長が「PTAはこれからの少子高齢化社会について、子どもたちの教育環境をどのように作り上げるか、学校・家庭・地域と一緒に考えなくてはなりません。」とあいさつされました。その後、来賓の高井美穂文部科学大臣政務官、森田健作千葉県知事、熊谷俊人千葉市長の祝辞がありました。いずれも心を打たれる内容でした。

記念講演では、元テニスプレーヤーの松岡修造氏から「叱って・ほめて・だきしめる」という内容での話があり、テレビで拝見する姿とは違う一面が見られました。話の中で印象に残った点は以下のとおりです。これもほんの一部ですが、いずれも新たな発見、気づきを得ることができました。

・応援するとは厳しい状況下で感性を養い、本人に気付かせること。
・ミスは悪くない。次は成長できる。だからミスをしたらガツポーズ。
・海外では自分で考え行動することを学んだ。
・何故(WHY)ではうまくいかない。どうしたら(HOW)と前向きに。
・三日坊主です。三日も続けられたから。
・最後のアトラクションは、劇団四季による歌の披露でした。
・なお、来年度は広島県で開催されます。



・基礎講演では、新学習指導要領について説明がありました。小学校では来年度から完全実施されますが、既に3年前から準備が行われており、教科書の他、教職員に対して授業及び評価の方法が教育されています。内容として「生きる力」はそのまま継続されますが、台形の面積が復活するなど、従来の「ゆとり教育」から「確かな学力」へと転換されます。更に得た知識で思考・判断・表現できることが重視されます。すなわちこれまで以上に、ど

うして?を説明できる力を養うようにするとのことでした。また、それに伴い、保護者や地域の人の協力、参加、参画が必要となります。

特別第2分科会「文部科学省」

新学習指導要領について
新しい公共とPTA

基調講演は、千葉大学名誉教授の藤澤英昭氏の「自分をつくる没頭体験」と題して、教育者として現場での体験を踏まえたお話でした。「子どもに逃げ道を作っておくこと」「家庭や社会が学校化している」「教えることと学ぶことは1・1ではない」「本当に考える子どもを育ててほしい」ということや、



「没頭＝真剣になること」として、没頭させる体験が必要であるといったお話を伺いました。会場には、地元の子どもたちによるアトラクションが披露されるなど、プログラムが工夫されていました。また午後からの実践発表を交えた研究討議では、真剣な議論が繰り広げられ、いろいろな刺激を受けるとともに考えるきっかけとなりました。

第2分科会「家庭教育」

遊びから生まれる子どもとの会話
あなたの家庭はどうですか?



東京海上日動は、1999年度からNGOをパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングローブの植林をはじめました。それから10年、「海の森」は5,000haを超える面積にひかりました。マングローブ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来にかけた保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。
*「マングローブ植林行動計画」「財団法人オイスカ」(1999年度～)「国際マングローブ生態系協会」(2009年度～)

東京海上日動火災保険株式会社

東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050

☎ 0120-868-100 午前9時～午後8時(平日、土日祝とも) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

引受保険会社

AIU保険

CHARTIS

育てたいのは
子どもたちの未来。

「高校生国際交流プログラム」協賛
「いじめ防止標語コンテスト」開催
「エコキャップ推進協会」への支援
「がん健診企業アクション」への参加
「新日本フィルハーモニックオーケストラ」協賛
ほか

AIU保険会社

エイアイユー インシュアランス カンパニー

神戸支店

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3

問合せ: 078-360-2401 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

第54回 滋賀県人権教育研究大会 蒲生大会

記念講演 「すべての子どもに効果のある教育をめざして」
 発達障害の児童生徒への支援をととして」

差別の現実から深く学び、生活を高め、
 未来を保障する教育を確立しよう

今回の記念講演は大阪教育大学名誉教授・竹田契一さんでした。明るくメリハリのある語り口で、わかりやすいお話でした。



また一人ひとり特性の違いがあり、どこで何につまづいているのか？なぜできないのか？という個別のきめ細やかな指導や対応が必要とされています。

実際に視覚に障がいがある場合の文字の見え方を体験させていただきましたが、非常に読みづらいたと感じました。

500人いれば30～40人が発達障がいの対象者と言われており、平成19年に始まった特別支援教育は4年目を迎えています。

身体面に優しいユニバーサルデザインが存在する様に、学習や人間関係に困難を伴う発達障がいに対して、深い理解と温かいまなざしが必要ではないでしょうか？

PTAでの取り組み

大津市立真野北幼稚園PTA

真野北幼稚園PTAでは、保護者の「子育ての悩み」を少しでも解消できたらと、「子育て講座」を開催しました。また、保護者同士のつながりを大切にしたいと「秋まつり」というイベントの中で、PTA役員、保護者を中心となつて「人形劇」や「お店屋さん（模擬店）」をすることを企画し活動しています。

「子育て講座」での先生のお話を聞いて、子どもを叱るばかりではなく、子ども



「子育て講座」での先生のお話を聞いて、子どもを叱るばかりではなく、子ども

ものよいところを見つけてほめることの大切さ、親が心のゆとりを持つことで子どもたちの心にもゆとりが生まれるというところ、子どもの個性を大切に認め合うことの重要性を感じました。

例年、懇談会で話題となる悩み・心配事に「ケータイの使い方が挙げられる。その悩みを出発点として、携帯電話サイトの利用実態を把握するための親子アンケートの実施と人権を尊重しあう情報機器の利用を学ぶ学習会を企画しました。生徒分880枚、PTA会員分400枚。膨大な集計作業に悪戦苦闘した甲斐があり成果もバッチリ。利用実態と親と子の認識に大きな違



PTAでの取り組み

大津市立瀬田北中学校PTA

いがあること、危険な利用実態もあること等、新たな気づきと学びの場となりました。

タイやサイトに振り回されるのではなく、情報機器を使う者の人権意識の「質」を高めること、生徒・保護者共に「成熟した人間関係作り」を目指すこと、そして大人・社会全体が規制と教育の両輪で情報化社会に向き合うことが大切であると話し合われました。

分科会での発表を終えて

大津市立堅田幼稚園PTA



私たちは「思いやり」あたりまえにできることという内容で発表しました。発表するにあたり、この内容で研究大会にふさわしいのだろうか？と暗中模索するばかりで、不安いっぱいのまま事前打ち合わせを迎えました。しかし、その際に研究協力者の方から「研究大会に参加するということが、人権について考えるきっかけになればそれでよいのです」とPTAデビューした私に温かい言葉を頂き、自分に

たちが今まさに悩んでいること自体に意義があるのだと思つたらスッと肩の力が抜け、良い意味でリラックスした状態で分科会に臨めました。当日は日頃全く接点がないであろう人達と同じテーマについて意見を交わしたり、先輩PTAである高校PTAの方に激励の言葉を頂いたりとても貴重な時間でした。

園児・児童・生徒24時間総合保障制度

本年度の加入者数 **9,806名**
 (平成22年10月末)

補償が有利となる1万人まで、あと **194名** …来年こそは！

今からでも中途加入できます！

自転車走行中に誤って停車中の車両にあたり、車に傷をつけ高額な修理費を請求された等の賠償責任事故が多発しています。万が一の為に、ぜひご加入されることをお勧めします。



お申込み・お問合せ

滋賀県PTA連絡協議会
 園児・児童・生徒24時間
 子ども総合保障制度事務局

フリーダイヤル

0120-577-415

<http://www.jungle.or.jp/shigaken-pta/>

子どもたちの安全を支える地域の力

(1面からの続き)

見守り活動の特徴として、あいさつ運動や交通安全の指導も合わせて実施されている小学校が少なくなく、子どもたちの健全な育成に尽力されています。

小学校での見守り活動に参加される方々は、保護者及び教職員の他、地域のボランティア、子ども安全リーダー、民生委員児童委員、老人クラブ、青少年育成団体、更生保護女性会、少年補導員、交通安全協会、体育団体、社会福祉協議会、日赤奉仕団等々、地域で活躍されている各種団体に広がりを見せており、更に地域企業が参加されている事例もありました。

保護者の参加の動員方法については、当番制で参加が義務付けられている小学校が多いのですが、自主的に参加されている保護者も少なくありません(グラフ3)。登下校の見守り活動とは別に、放課後や休日のパトロールの実施の有無についての質問に対しては、小中学校で実施している事例が多く、特に中学校では60%を超える実施率で、40%近くの中学校がPTAとしての活動でした(グラフ4)。この場合の保護者の動員の方法としては、役員が参加する事例が最も多く、次に当番制と続きます。また、保護者が乗る自転

車のかごにパトロールの表示を行い、日常的なパトロールとしている事例もあるようです。

今回、インターネットで全国のスクールガード等見守り活動について調査したところ、多くの自治体で実施されており、スクールガードの名称が使われている事例も多数認められました。特に平成13年度の池田小学校の事件以降、全国的に広がりを見せているようです。

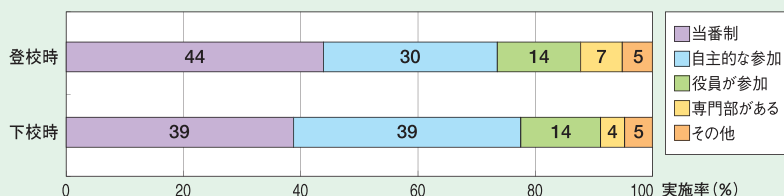
今回の調査で改めて分かったことは、これらの見守り活動は、子ども安全リーダー及び民生委員児童委員等を含め、地域のボランティアの皆様に支えられているという事です。言い換えると、も

我が子の安全を守ることにできるという世の中になつていくことを我々は自覚しなければならぬかもしれません。子ども

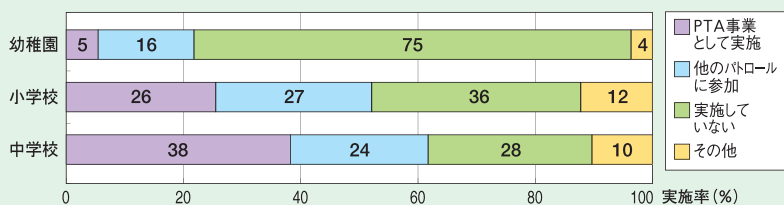
たちの安全は地域の力に支えられていることを認識した上で、我々PTA会員も地域の活動に貢献する必要があります。あると言えます。

今回のアンケートにつきましては、多くのPTAのご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。広報委員会では、今後も子どもたちの安全に焦点を当てていきたいと考えており、ユニークな事例がございましたら取材に行かせて頂きますので、県P事務局までご一報ください。

グラフ3 保護者の主な動員の方法(小学校)



グラフ4 放課後又は休日のパトロールの実施の有無



“書き損じハガキ” “テレホンカード” (未使用) の提供にご協力ください!!

県PTAの貴重な財源として各種事業に活用させていただいています。一会員1~2枚のご提供に協力をお願いします。

目標
10万枚

平成22年度分 411,608円
書き損じハガキ 9,697枚
未使用テレホンカード 342枚

ご協力ありがとうございました。

*** PTA安全会より ***

PTA行事参加中に事故が起これば…
各単位PTAを通じ下記へご連絡ください。

AIU保険会社

取扱代理店

(株)アーク・スリー・インターナショナル

〒520-0051 大津市梅林 1-15-30 林ビル2階
TEL(077)527-6823 FAX(0120)527-606
(平日:9時30分~17時まで)

滋賀県PTAホームページ <http://www.jungle.or.jp/shigaken-pta/>

編集後記

出会いはPTA、再会もPTA、だから楽しいPTA

40年以上も生きていけると、様々な出会いがあります。学生時代の出会い、社会に出てからの出会い、いろいろな出会いがあります。結婚して子どもを授かってからの出会いは特に面白いと感じます。

また、PTAで出会った先生が、異動で息子の通う小学校の校長先生になられたこともありました。これって、出会いでもありますが、再会でもありますよね。偶然の妙とも言えますよね。本当に面白いです。

私の場合、PTAの活動歴が多少長いので出会いも多いのですが、実はその出会いが他の会合で偶然隣に座った方だったり、他のボランティアで一緒だった方だったり、妻と知り合ったり、息子が幼稚園でお世話になった先生だったりということがあります。

この「みずいろ」が読者の皆様のお手元に届くときには、私はまた大きな出会いをしているはずですから、その話もまた次の機会に(O・Y)